



総合計画市民ワークショップを開催しました

第4回

10/26(土)

開催概要

第6次富士宮市総合計画の策定に向けて、市民の立場から将来の富士宮市のまちづくりのあり方について考え、話し合っていたく総合計画市民ワークショップを開催しました。

日時 2024年10月26日(土)
会場 富士宮市役所7階
参加者数 34人



テーマ

富士宮市らしい新たな幸せな暮らしを考える

グループごとに富士宮市の魅力的な地域資源を選択し、富士宮市固有の地域資源を活かしたまちづくりの方策とそれがもたらす効果を考えました。方策を考える際には、富士宮市の活性化に繋がること、市民の暮らし満足度が高まること、まちに対する誇り・愛着が深まること、人口減少のペースが遅くなる（軽減する）こと等の視点を意識しました。

初めに個人で地域資源の活用方法と活用効果を考えて後、個人で考えた内容をグループで共有しながら、活用方法と活用効果を模造紙に整理しました。

グループごとに整理した内容を全体に向けて発表した後、自分のグループとは違う地域資源を考えたグループに移動し、提案内容について対話を行いました。



グループワークの成果

富士宮市固有の地域資源を活かしたまちづくりの方策とそれがもたらす効果を考え、各班で様式にまとめました。詳細は裏面に掲載しています。

Aグループ 市民の楽しみ

- ・散歩コースのマップ作り
- ・富士宮市の年間イベントカレンダー作り
- ・アプリの活用

Bグループ 映えスポット

- ・富士宮市のYouTubeアカウントによる市外向けコンテンツの発信
- ・観光スポットの開発
- ・口コミ隊の活用
- ・県外イベントでご当地グルメをPRする

Cグループ 富士山の恵みである水

- ・流水
- ・湧水を活用する施設の整備
- ・加工品（お酒・ニジマス）を購入できる場所の整備

Dグループ 富士山に培われた歴史

- ・遊びのツアー、学びツアー（歴史・金山）
- ・町外からもまつりに参加できるようにする
- ・観光マップの作成
- ・インフルエンサーによる情報発信

Eグループ 子どもが育つ環境

- ・治安の良さ、豊かな自然、医療費無償化を活かす
- ・日陰がある公園で大人と子供が遊べるようにする
- ・田舎文化と世代間交流を残して治安を維持する

Fグループ 自然体験・イベント

- ・市民も観光客も気軽にサイクリングできるようにする
- ・豊かな自然を活かし、住宅地ではできないことをできるようにする
- ・手軽に参加できるイベントを用意する

※選んだ地域資源をオレンジ色、各グループで出た意見を黒字で示しています。

感想

- 回を追うごとに課題解決のための方法が出て来て勉強になります。
- 他のグループとの交流があり、違った考え方やとらえ方を聞くことができた。



総合計画市民ワークショップを開催しました



富士宮市が持っている様々な魅力（地域資源）を活用して取組むことのできる方策を各グループで整理しました。また、それらの方策に取組むことによってもたらされる効果をまとめました。

富士宮市が持っている魅力を最大限に活用しながら、どうすれば市民や来宮者（富士宮に来る人）にとってより良いものとなるか、参加者同士で議論することができました。

■Aグループ 市民の楽しみ



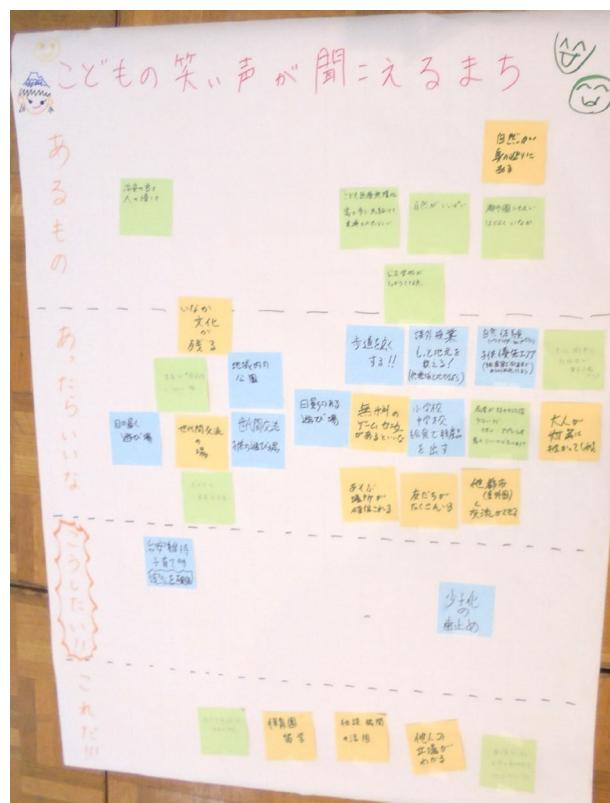
■Dグループ 富士山に培われた歴史



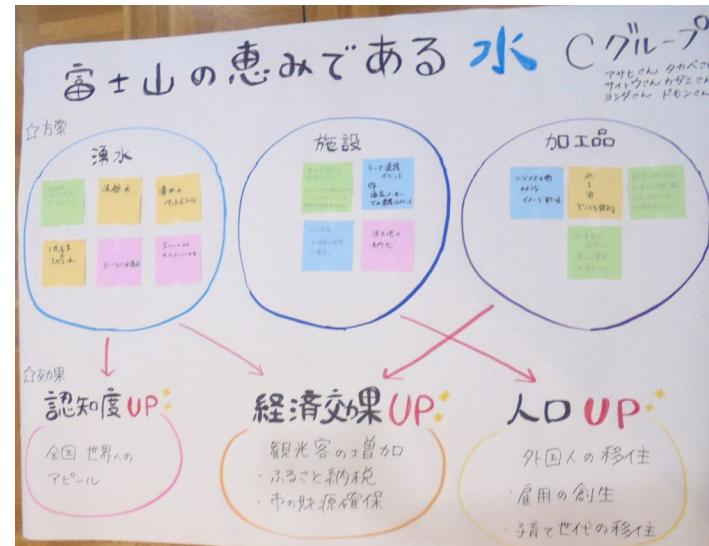
■Bグループ 映えスポット



■Eグループ 子どもが育つ環境



■Cグループ 富士山の恵みである水



■Fグループ 自然体験・イベント

